

学生さんもおすすめ！  
＼新任の先生のご研究をのぞいてみませんか／

# 人間科学セミナー

申込み  
不要



9.18 (木)

13:30-15:00

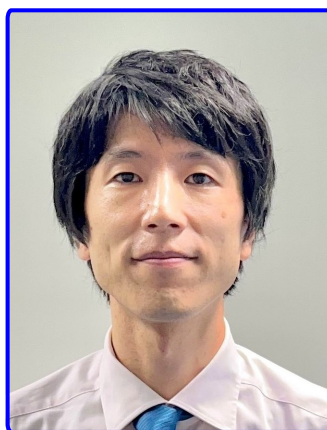
人間科学研究科 北館2F ラーニングコモンズ



社会学・人間学系  
社会環境学講座

齋藤 僚介 先生

13:30 -



教育学系  
臨床教育学講座

藤野 陽生 先生

14:00 -



共生学系  
コミュニティ学講座

福田 雄 先生

14:30 -



大阪大学大学院人間科学研究科

附属 未来共創センター



[mirai-kyoso@hus.osaka-u.ac.jp](mailto:mirai-kyoso@hus.osaka-u.ac.jp)

齋藤 僚介 先生

／社会学・人間学系 社会環境学講座

## ナショナリズムとミクロ・マクロ・リンク

「日本人ファースト」を標榜する参政党の躍進は、どのような社会状況や権力関係のもとで起こったのでしょうか。このようなマクロな社会レベルの現象の説明は社会学における最重要課題の一つとされてきました。この問いを明らかにするために用いられてきた視座としてミクロ・マクロ・リンクというものがあります。この視座ではマクロな現象をミクロな個人の選択を通じて説明しようとしています。本報告では、これまでの発表者のナショナリズムに関する研究を社会学における重要な視座であるミクロ・マクロ・リンクに位置付け、社会状況や社会的権力関係と排外主義的集合行為や極右台頭（マクロレベルでの現象）の関係を個人のナショナリズムと合理的選択（ミクロレベルの現象）の関係の説明を試みます。発表者の研究は「在日特権を許さない市民の会」やネット右翼を念頭に置いた研究でしたが、そこから議論を進め、今回の参政党躍進について考えたいと思います。

藤野 陽生 先生

／教育学系 臨床教育学講座

## 人と生きる：障害と病気、親と子の育ち

人と生きていくことは、とても大切なことです。しかし、私たちが生きていく上では、さまざまな障害があります。みなさんは、障害というと何を思い浮かべるでしょうか？小さなことから大きなものまでさまざまですが、何らかの問題によって、生活を送ることや、人と関わりを持つことが難しくなってしまふことがあります。発達障害は、環境への適応や他者とのコミュニケーションで問題を抱えるために生活していくうえでの困難があったり、筋ジストロフィーという病気では、筋力低下が進行していくために生活を続けていくことが困難となったりします。このような状況と共に、生活していくことをどのように捉えて、関わっていくことができるでしょうか。今回のお話では、私たちがこれまで取り組んできたアセスメントと支援に関する研究をご紹介します。

福田 雄 先生

／共生学系 コミュニティ学講座

## 慰霊祭・追悼式からみる現代社会

激甚化する災害と私たちはどのように向き合うことができるのでしょうか。防災や減災の取り組みが重要であることは言うまでもありませんが、なかには防ぎ切ることができないものもあります。起きてしまった災禍と向き合う方法の一つが、慰霊祭や追悼式です。災禍が生じた記念日をめぐり執り行われる記念式典は、ある社会のなかで何が記念すべき出来事なのか、そして「われわれ」としていかに災禍に対処するのかを明らかにします。今世紀に進められるようになった記念式典の研究を概観しつつ、様々な社会や文化のなかで災禍はどのように語られ、意味づけられているのかをみていきたいと思います。具体的には、スマトラ島沖地震（2004年）や東日本大震災（2011年）といった津波災害の記念式典の事例をみることで、災禍と向き合う際にあらわれる現代社会の特質を考えてみたいと思います。



大阪大学大学院人間科学研究科

附属

未来共創センター



mirai-kyoso@hus.osaka-u.ac.jp

